

教職開発講座 河崎 智恵 教授



ライフキャリアの視座からの キャリア教育の探究



キーワード キャリア教育/ 教職キャリア/ 教科教育/

どのような研究をなぜ行っているか

持続可能な社会の実現のためには、職業的な自己実現に偏重することなく、生活実践や他者支援の視座を含む統合的なキャリア教育の開発・実践が求められます。このような見地より、学校や大学におけるキャリア教育、教科教育、キャリアカウンセリングの研究に取り組んでいます。

1. ライフキャリア教育の理論と実践に関する研究

米国やカナダの教育実践を参考にしながら、質問紙調査等を用いてキャリアに関する能力領域について検討し、ライフキャリア教育のモデルやプログラムを開発しています。それらの研究成果をもとに、小・中・高等学校及び特別支援学校の先生方と協働して、教科や特別支援教育におけるキャリア教育の実践に取り組んでいます。また、大学においては教員養成大学を中心にライフキャリア教育を実践し、成果を検証することによって、プログラムの改善・普及に努めています。

2. 教職キャリアカウンセリングに関する研究

教職志望者・教師を対象とした、教職キャリアカウンセリングの在り方について研究を行っています。現在は、欧州の教員養成大学で実施されているプログラムをもとに、日本版プログラムの開発を目指し、研究を進めています。

3. 教科教育や多様性理解に関わる教育の研究

生活実践力や多様性の理解は、ライフキャリアを拓いていくにあたり、基盤となる重要なものです。近年は主にジェンダーの視点から、家庭科や多様性に関わる教育の在り方を探究しています。

研究成果をどのように活用し、どのような貢献ができるか

研究成果は、高校や大学でのキャリア教育実践に活用し、児童・生徒・学生のキャリア支援に貢献できるよう努めています。例えば、現在開発している教職キャリアカウンセリングの研究は、「奈良県次世代教員養成塾」のプログラム開発や実践において活用するなど、子どもたちのキャリア支援に役立てるよう心がけています。

また、カナダのキャリアプログラム「Career Pathways」(翻訳)は、奈良教育大学での授業だけでなく、他大学のキャリア教育科目等においてもご活用頂いています。



N. E. アムンドソン・G. R. ポーネル著(河崎智恵 監訳)
『キャリアパスウェイ：
仕事・生き方の道しるべ』
ナカニシヤ出版 2005

これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

- ・日本キャリア教育学会 学会誌編集委員会副委員長 (2021～現在)、理事 (2016～2019)
- ・日本教科教育学会役員 (監事) (2015～現在)
- ・奈良県次世代教員養成塾プログラム策定委員会委員 (2017)、プログラム実行委員会副委員長 (2018～2019)、プログラム担当講師 (2018～現在)
- ・奈良教育大学学長裁量経費プロジェクト「教育の多様性・包摂性を高めるためのオンライン教材及び教員養成・研修プログラムの開発」代表 (2021～現在)

